

ソフトウェアのインストール

CD-ROMの内容

同梱されているCD-ROMには、以下のものが収められています。

- R3 サウンド・エディター
- KORG USB-MIDIドライバ
- R3 サウンド・エディター取扱説明書(HTML)
- R3 エフェクト・ガイド(PDF)
- R3 が受信するMIDIメッセージについて(PDF)
- R3 MIDIインプリメンテーション・チャート(PDF)
- R3 MIDIインプリメンテーション(PDF)
- ソフトウェア使用許諾契約(PDF)

使用前のご注意

- 本製品のソフトウェアの著作権は、すべて(株)コルグが所有しています。
- 本製品のソフトウェアの使用許諾契約が別途に付属されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずソフトウェア使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアをインストールすると、この契約にご同意いただいたことになります。

動作環境

KORG USB-MIDIドライバ

Windows XP

対応OS

Microsoft Windows XP Home Edition/Professional/x64 Edition Service Pack 2以降(x64 Edition用のMIDIドライバはベータ版)

対応コンピューター

Microsoft Windows XPの動作環境を満たすUSBポート搭載のコンピューター

Mac OS X

対応OS

Mac OS X 10.3.9、またはMac OS X 10.4.7以降

対応コンピューター

Mac OS Xの動作環境を満たすUSBポートを搭載したIntelまたはPowerPCプロセッサのApple Macintosh

R3 サウンド・エディター

Windows XP

対応OS

Microsoft Windows XP Home Edition/Professional Edition Service Pack 2以降

対応コンピューター

1,024×768 16bitカラー以上のモニターを持つ、Windows XPの動作環境を満たすUSBポート搭載のコンピューター

Mac OS X

対応OS

Mac OS X 10.3.9、またはMac OS X 10.4.7以降

対応コンピューター

1,024×768、32000色カラー以上のモニターを持つ、Mac OS Xの動作環境を満たすUSBポートを搭載したIntelまたはPowerPCプロセッサのApple Macintosh

Windows XPのKORG USB-MIDIドライバとR3 サウンド・エディターのインストール

- Windows XPへのソフトのインストールおよびアンインストールを行うためには、Administratorの管理者権限が必要です。詳しくはシステム管理者に相談してください。
- R3とコンピューターをUSBで接続する前に、R3アプリケーション・インストーラーでKORG USB-MIDI Driver Toolsをインストールしてください。

R3 アプリケーション・インストーラー

R3アプリケーション・インストーラーは、KORG USB-MIDI Driver Toolsやサウンド・エディターなどのソフトウェアを、コンピューターへ自動的にインストールします。

- 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。通常は、「R3 Application Installer」が自動的に起動します。コンピューターの設定などで自動的に起動しない場合は、CD-ROMの中の「KorgSetup.exe」をダブルクリックします。
- 画面の指示に従って、KORG USB-MIDI Driver Toolsやサウンド・エディターなどのソフトウェアをインストールしてください。
 - USBポートを経由してR3サウンド・エディターを使用するときは、KORG USB-MIDI Driver Toolsをインストールしてください。
- 選択したすべてのソフトウェアをインストールしたら、インストーラーを終了します。
- 必要なときは、KORG USB-MIDIドライバをインストールしてください。インストールの方法は、次の「KORG USB-MIDIドライバのインストール」を参照してください。

KORG USB-MIDIドライバのインストール

USBポートを経由してR3サウンド・エディターを使用するときは、コンピューターに「KORG USB-MIDIドライバ」をインストールする必要があります。

KORG USB-MIDIドライバは、KORG USB-MIDI Driver Toolsを使用してインストールします。

- コンピューターへKORG USB-MIDI Driver Toolsのインストールを済ませておいてください。
- コンピューターのUSBポートとR3のUSB端子を、USBケーブルで接続します。そして、R3の電源をオンにします。コンピューターがR3の接続を認識すると、Windowsの標準ドライバが自動的にインストールされます(これはKORG USB-MIDIドライバではありません)。
 - ドライバのインストールはUSBポートごとに必要です。KORG USB-MIDIドライバをインストールしたときとは異なるUSBポートにR3を接続して使用する場合は、同様の手順で、新たにKORG USB-MIDIドライバをインストールし直してください。

3 タスクバーの[スタート]⇒[すべてのプログラム]⇒[KORG]⇒[KORG USB-MIDI Driver Tools]⇒[KORG USB-MIDIデバイスのインストール]の順にクリックします。セットアップ・ユーティリティが起動します。

4 画面の指示に従って、KORG USB-MIDIドライバをインストールしてください。
インストールの途中で、「...Windowsロゴテストに合格していません。」という内容の、デジタル署名認証に関するダイアログが表示される場合がありますが、[続行]をクリックして先に進みます。

▲ インストールできないときは、コンピューターがデジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている可能性があります。「デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには」に従って、コンピューターの設定を確認してください。

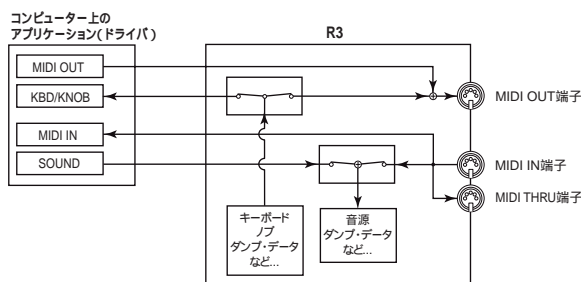
5 KORG USB-MIDIドライバをインストールしたら、インストーラーを終了します。

再起動を求められた場合には、[はい]を選んでコンピューターを再起動してください。

KORG USB-MIDIドライバのインストール、セットアップ、またはアンインストールについては、インストール・マニュアル(HTML)を参照してください。

インストール・マニュアルを表示するには、タスクバーの[スタート]⇒[すべてのプログラム]⇒[KORG]⇒[KORG USB-MIDI Driver Tools]⇒[インストール・マニュアル]を選びます。

R3 とMIDIドライバのポートについて



MIDI IN デバイス

KBD/KNOB

R3の鍵盤やノブからのMIDIメッセージが入力されます。また、ダンプ・データ受信にも使用します。

▲ このポートを使用するときはグローバル・パラメーターP42: MIDI ページの "Routing" をUSBまたはUSB+MIDIにしてください。

MIDI IN

R3のMIDI IN端子に入力されたMIDIメッセージが、このポートに入力されます。例えば、外部シーケンサーのMIDIメッセージをコンピューターのアプリケーションに送信したり、R3をUSB-MIDIインターフェイスとして使用することができます。このときは、アプリケーションのMIDI入力設定で、このポートを選択してください。

MIDI OUT デバイス

SOUND

ソフトウェアからR3の音源を発音させたり、ダンプ・データを送信するときに使用します。

▲ このポートを使用するときはグローバル・パラメーターP42: MIDI ページの "Routing" をUSBまたはUSB+MIDIにしてください。

MIDI OUT

ソフトウェアが出力したMIDIメッセージを、そのままR3のMIDI OUT

端子へ送信します。コンピューターのアプリケーションのMIDIメッセージを外部機器に送信する等の、R3をUSB-MIDIインターフェイスとして使用する場合に、アプリケーションのMIDI出力設定で、このポートを選択してください。

R3 サウンド・エディターのセットアップ

R3サウンド・エディターのセットアップや使用方法については、「R3サウンド・エディター取扱説明書」をご覧ください。

デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには

使用しているコンピューターが、デジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている場合は、KORG USB-MIDIドライバをインストールすることができません。次の方法でドライバをインストールできるように設定を変更してください。

1 タスクバーの[スタート]⇒[コントロールパネル]の順にクリックして、コントロールパネルを表示します。

2 コントロール パネル内の[システム]をダブルクリックし、[ハードウェア]タブをクリックします。

3 “ドライバ”で、[ドライバの署名]をクリックします。



4 “どのように処理しますか?”で、[無視]または[警告]を選び、[OK]をクリックします。

必要なときは、KORG USB-MIDIドライバをインストール後に、この設定を元に戻してください。



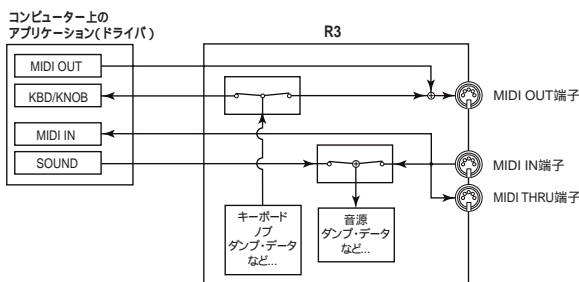
Mac OS XのKORG MIDIDライバとR3サウンド・エディターのインストール

ソフトウェアのインストール

KORG USB-MIDIドライバやサウンド・エディターなどのソフトウェアのインストーラーを1つずつ起動し、それぞれをインストールします。

- 1 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROMの中のソフトウェアのインストーラー(.pkg)をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
それぞれのインストーラーは、次のフォルダに納められています。
 - ・ KORG USB-MIDIドライバ
「KORG USB-MIDI Driver」フォルダの KORG USB-MIDI Driver.pkg
 - ・ Sound Editor
「R3 Sound Editor」フォルダの R3 Sound Editor.pkg
- 3 画面の指示に従って、KORG USB-MIDIドライバやサウンド・エディターなどのソフトウェアをインストールしてください。
 - ⚡ USBポートを経由してR3サウンド・エディターを使用するときは、KORG USB-MIDIドライバをコンピューターにインストールしてください。
- 4 ソフトウェアをインストールしたら、インストーラーを終了します。

R3とMIDIドライバのポートについて



MIDI IN デバイス

KBD/KNOB

R3の鍵盤やノブからのMIDIメッセージが入力されます。また、ダンプ・データ受信にも使用します。

- ⚡ このポートを使用するときはグローバル・パラメーターP42: MIDIページの“Routing”をUSBまたはUSB+MIDIにしてください。

MIDI IN

R3のMIDI IN端子に入力されたMIDIメッセージが、このポートに入力されます。例えば、外部シーケンサーのMIDIメッセージをコンピューターのアプリケーションに送信したり、R3をUSB-MIDIインターフェイスとして使用することができます。このときは、アプリケーションのMIDI入力設定で、このポートを選択してください。

MIDI OUT デバイス

SOUND

ソフトウェアからR3の音源を発音させたり、ダンプ・データを送信するときに使用します。

- ⚡ このポートを使用するときはグローバル・パラメーターP42: MIDIページの“Routing”をUSBまたはUSB+MIDIにしてください。

MIDI OUT

ソフトウェアが出力したMIDIメッセージを、そのままR3のMIDI OUT

端子へ送信します。コンピューターのアプリケーションのMIDIメッセージを外部機器に送信する等の、R3をUSB-MIDIインターフェイスとして使用する場合に、アプリケーションのMIDI出力設定で、このポートを選択してください。

R3 サウンド・エディターのセットアップ

R3サウンド・エディターのセットアップや使用方法については、「R3サウンド・エディター取扱説明書」をご覧ください。